

私たちはボランティア精神のもと
「市民後見人」として、地域社会に貢献することを目指します。

会報/市民後見人の会 No. 173

2022年4月24日発行 通巻No.183号

創刊2007年2月27日

発行/特定非営利活動法人 市民後見人の会

〒140-0014 東京都品川区大井1-15-1 品川成年後見センター分室3階

TEL: 080-3912-3259 (通話専用 月～金曜日の10時～15時の間対応します。)

TEL&FAX: 03-6303-8265

MAIL: npokouken@gmail.com HP: <http://www.shiminkoukenninnokai.jp>

◆第47号後見活動を終えて◆

後見部会 小川雅之

令和4年2月21日早朝、本会受任第47号被後見人の男性が特養施設にてご逝去されました(享年74歳。受任期間は2年5か月でした)。

ご本人は一人暮らしをされていましたが、居室内はいわゆるごみ屋敷状態で生活されてきました。大家からの依頼があり、区と在宅支援センターのケアワーカーが訪問し、救急搬送にて入院となりました。ご本人は脳梗塞による後遺症で失語症を患っておられました。その後本会が担当することになり、老健に入所中のご本人とお会いすることとなりました。

入所中はコロナ前後でもあり、中々対面での面会ができませんでしたが、当初はリハビリに励んだり、読書をしたりと楽しそうに過ごされていました。その後終の棲家として特養に入所、場所が遠いこともあり、リモート面会が多かった事はありませんでしたが、職員とも仲良くされており、画面に映る姿はいつも笑顔でとても楽しそうでした。毎月の面会ごとに少しずつ声が聞こえるようになり、もう少しすればはっきり聞こえる日が来るかもしれないと希望が見えてきたある日、コロナウイルス陽性が発覚しました。その後、コロナウイルス自体は問題ないと思われたのですが、食欲が日増しに落ちていき、ついには食べない日が続き、そして最期の日、死因は老衰ということでした。

今回ご本人の思いをどれだけ実現できたのかは、残念ながら確認できません。今後もご本人に寄り添う後見活動に向けて精進いたします。

◆情報交換会 326◆

後見部会主催による後見担当者同士の情報交換会が以下のとおり開催されました。

日 時：3月26日（土）13：30～16：30

場 所：品川第一地域センター（第一集会室）

進行役：朝倉鈴子会員

出席者：13名

古賀理事長・斎藤部会長の挨拶により会が始まりました。最初に小松前部会長による「今はコロナで大変だが、しかし出来れば楽しくやって行ければと思う。また会の第一世代が交代する時期に来ている。若い力を頂かないと会として進まない。若い世代の方たちにどのように活躍して貰うかが課題としてある」との発言がありました。その後、現在活動中の15件の案件について各担当者から報告がなされました。困難な事例も多くその内のいくつかを挙げます。

○ご本人は精神的に不安定で担当の自分にきつい言い方をする。精神科医に診てもらっている。親族と一人も連絡が取れない。

○私はこの方の後見担当を4年間やった。途中で要介護5になった。昨年12月に入院し年明けから主治医から毎日のように自分に連絡が入った。今年1月に亡くなられ残念です。

○後見を受任した当初はご本人は人との関係がうまく取れなかったが、後見人として様々な人と会ったことにより人柄が変わり今は安定している。「有難う」と言われる事もある。



◆月曜カフェ◆

事務局主催の第33回月曜カフェが開催されました。

日 時：3月28日（月）10：00～12：00

場 所：荏原第五地域センター

テーマ：市民後見人と専門職後見人との違い
コロナ禍での後見活動での気づきと疑問

発表者：渡橋理恵会員

出席者：12名

弁護士事務所で後見業務の経験がある渡橋さんに自身の体験を踏まえ、専門職の活動と本会での活動の違いを具体例を挙げ分かり易く解説頂き、市民後見人としての活動の課題、問題点にも踏み込んで語って頂きました。その後の質疑応答も活発に行われ充実した2時間でした。



◆総会案内◆

2022年度の本会通常総会を6月11日(土)13時半よりリアル開催します。場所を含め詳細は後日、全会員に向けて連絡します。一昨年、昨年とWEB開催だったので3年ぶりに多くの会員が集まることとなります。今年を含めこの2年間の新入会員の方たちの紹介も行います。風通しが良く広い会場で開きます。多くの会員の皆さんの参加を期待します。

◆八潮図書館 認知症カフェ◆

「八潮図書館 認知症カフェ」(主催：品川区立八潮図書館)が開かれ、広報部会が講師を務めました。

日時：3月28日(月)14時～15時半
場所：八潮地域センター(レクホール)
テーマ：成年後見制度について学ぼう
出席者：16名



約30分の成年後見制度の説明、本会の活動紹介を行った後、2グループに分かれ日常生活の不安や今思っている事等々を語り合い、和やかな時間を過ごしました。

◆事務局・各部会委員名簿◆

2022年度事務局・各部会委員は次のとおりです。(※ 兼任)

事務局：高原三平(事務局長)、犬飼光子、大岡朋子※、金城清、佐藤孝雄、杉谷徹夫※、高橋宣子※
逸見賢次、松丸心一、馬庭俊一郎、渡橋理恵

後見部会：斉藤裕二(部会長)、朝倉鈴子※、大金修、岡部裕子、小川雅之※、川端友康、小松統、
斉藤直子、杉山麻里子、(新人)

研修・相談部会：杉谷徹夫※(部会長)、朝倉鈴子※、飯田幸恵、大岡朋子※、小川雅之※、高橋宣子※
逸見賢次※、馬庭俊一郎※、(新人)

なお、2021年度までの広報部会は解散したが、広報部会メンバーはこれまでと変わらず町会集会や品川区主催の各イベント等に参加し広報活動を進める。

◆会費◆

新年度が始まりました。会費の納入をお願い致します。

ゆうちょ銀行 【記号】10140 【番号】16255001
【なまえ】トクヒ)シミンコウケンニンノカイ

◆監督人・後見人等連絡会◆

理事・後見部会 杉山麻里子

第30回監督人・後見人等連絡会が以下のとおり開催されました。

日時：令和4年4月18日（月） 15時00分～16時00分

場所：品川区社会福祉協議会 3階

出席：品川成年後見センター 宮本職員、羽田職員、安藤職員
市民後見人の会 古賀忠壹、高原三平、朝倉鈴子、斉藤裕二、
杉山麻里子

司会：斉藤裕二

I 監督人からの連絡事項等

1. 庶務から安藤職員が異動・着任した。
2. 後見センターは4階に移動した。貸金庫の鍵、キャビネット等も移動した。
3. 後見報酬等助成金の申請方が変更した（品川区HP参照）。
4. 今回、会への新案件はなし。
5. 理事の支援員活動の始まったいきさつ・経過について教えて欲しい。
【当会】社協と当会との書面取り交わしとしている。書面をコピーして渡す。
【監督人】今後については改めて相談したい。

II 当会からの質問・連絡事項等

1. キャッシュカードの使用を検討している。具体的な案が出来次第相談したい。
2. 社協では通帳をどのように扱っているか。

【監督人】

- ・メインの通帳は社協金庫に、日常的に使用しない通帳は貸金庫に預けるようにしている。貸金庫には一人で行く。

次回開催予定 令和4年7月11日（月）15時00分～16時00分

◆2021 年度 3 月度理事会報告◆

1. 開催日時 2022 年 3 月 22 日（火）17 時 30 分～19 時 30 分
2. 開催場所 荏原第五地域センター第 4 集会室（和室）
3. 出席理事 朝倉鈴子、大金修、金城清、古賀忠壹、斉藤裕二、杉谷徹夫、杉山麻里子、高原三平、馬庭俊一郎各理事（理事総数 10 名）
4. 欠席理事 内山恵子
5. オブザーバー 國枝園子、小松統各監事（敬称略）
7. 議事

<審議事項>

- ① 2022 年度事業計画・予算案について以下の事項を確認の上、原案通り決議した。
 - ・決算が出た段階で再度予算との比較検討を行い、場合によっては修正案を理事会に報告する。
 - ・支出が収入を上回るマイナス予算だが、会の活性化のため剰余金を投入する。今後も剰余金の有効活用を視野におく。
- ② 規程類（B-2 会務細則）の改正について以下の事項を確認の上、原案通り決議した。
 - ・広報部会の主要な業務を事務局に移し、同部会は解散する。業務の優先順位及び簡素化を考慮した。
- ③ 後見担当者の交代について原案通り決議した。
＜正担当＞16 号、49 号 ＜副担当＞20 号、50 号、51 号、53 号
交代日は 49 号正担当を除き、2022 年 4 月 1 日とする。

<協議事項>

- ① 2021 年度事業報告・決算案について協議した。

<報告・連絡事項>

- ① コロナ対策について本会は従来の方角で進めることとする。全員メールで周知した。（古賀）
- ② 2021 年度市民後見人養成講座について別添資料により報告があった。（杉谷）
（実施日）2022. 2. 26～3. 19 5 日間、（申込者）21 名、（修了者）18 名、（入会希望者）7 名
（2022. 3. 22 現在）
- ③ 2022 年度事務局・各部会委員の選任状況について途中経過報告があった。（各部会）
- ④ 2021 年度の入退会者について報告があった。（高原）
- ⑤ 会費滞納者（2 年間）について報告があった。（高原）
- ⑥ 会報 3 月号について報告があった。（金城）
- ⑦ その他

新年度が始まりました。コロナ禍で前途不透明な状況が続き後見活動にも様々な面で支障を来しています。新しい気持ちで前に進んで行ければと思います。（編集 金城 清）